

□ 主な内容

【全国のカーシェアリング実施規模について調査結果を公表！】

エコモ財団は、毎年実施している全国のカーシェアリング実施規模について調査し、結果を公表しました。

http://www.ecomo.or.jp/environment/carshare/carshare_graph2017.3.html

【平成 29 年度エコドライブ活動コンクールへの参加者募集を開始！】

エコモ財団は、毎年実施しているエコドライブ活動コンクールへの参加者募集を開始しました。

<http://www.ecodrive-activity-concours.jp/>

□ 目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 130 回)

●「地域公共交通の『6 次産業化』的発想の可能性～持続可能な公共交通のためのアプローチ～」

【呉工業高等専門学校 教授 神田佑亮】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 130 回)

●「姫島の新たなモビリティの普及の研究と事業化について」

【姫島エコツーリズム推進協議会 会長 寺下 満】

3. ニュース／トピック

●「地域交通グリーン化事業」の対象案件の決定について【国土交通省】

●京都丹後鉄道 宮豊線を利用した農産品の道の駅への輸送について【国土交通省】

●民間事業者による水素ステーションの本格整備の検討について【経済産業省】

●わが国のカーシェアリング車両台数と会員数の推移【エコモ財団】

●「平成 29 年度エコドライブ活動コンクール」への参加者募集について【エコモ財団】

●公共交通の課題解決に向けて「地域連携サポートプラン」提案書の交付について【近畿運輸局】

●「第 10 回やまぐちバス博」を開催しました【中国運輸局山口運輸支局】

●平成 29 年度「COOL CHOICE」としての公共交通利用促進について【京都市】

●湖東圏域地域公共交通網形成計画について【滋賀県多賀町】

●「第 11 回 JAF みんなのエコ川柳」入賞・入選作品発表【一般社団法人日本自動車連盟】

- 環境意識調査の結果の公表について【ドイツ連邦環境省】
- 低排出車両の購入を促進するボーナス・マルス制度について【スウェーデン環境・エネルギー省】

4. イベント情報

- 第 7 回地域の交通環境対策推進者養成研修会(金沢)【2017/10/11-13】
- エコライフ・フェア 2017【2017/6/3,4】
- ITS あいち県民フォーラム 2017【2017/6/7】
- 九都県市エコドライブ講習会【2017/6/12,19,25,26】
- 第 10 回 ECOMO 交通バリアフリー研究助成報告会【2017/6/20】
- 第 12 回日本モビリティ・マネジメント会議【2017/7/28,29】
- 第 9 回土木と学校教育フォーラム【2017/8/6】
- 京都スマートシティエキスポ 2017【2017/9/28,29】
- 第 24 回 ITS 世界会議モントリオール 2017【2017/10/29-11/2】
- 第 15 回 ITS シンポジウム 2017【2017/12/7,8】
- エコプロダクツ 2017【2017/12/7-9】

5. その他

- EST パートナースHIP会員制度に参加する団体を募集しています！
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)の学校支援を募集中！
- 地域における外国人旅行者等の移動円滑化を図る取組みを支援します！
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
- 記事募集中！

=====

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 130 回)

●「地域公共交通の『6次産業化』的発想の可能性～持続可能な公共交通のためのアプローチ～」

【呉工業高等専門学校 教授 神田佑亮】

交通の役割は、人々を「出発地」から「目的地」まで安心・安全に運ぶこと。ところが、様々な MM プロジェクトに携わった印象として、公共交通事業者、行政も含めて、公共交通の役割を「乗車地」から、「降車地」までの効率的運行に焦点を当てた思考になっているように感じます。

ただでさえわかりにくい公共交通が、人々の移動の1区間(あるいは、公共交通乗車区間)だけを考え、利用者に提示しても、Door to Door で移動できるクルマに勝てるわけがありません。

しかし、視点を変えるとここに公共交通のビジネスチャンスがあるはず。「急速な高齢化」や「若者のクルマ離れ」が進む中、公共交通による移動に対するニーズは相当あると思われる。

公共交通ビジネスの強みを整理すると、

- ・地域の主要なポイントを接続するネットワークを有している。
- ・限界費用がほぼゼロ(お客さんの増加による収入増≒利益増。)

があらうかと思います。

この強みを活かして、人々の「出発地」から「目的地」までのトータルを取り込んだ「商品」を提案する、付加価値向上の可能性が大いにあると思います。実践例として筆者らは今年の冬季、バス事業者とスキー場を縁結びし、路線バスと送迎スキー場のリフト券をパッケージ化した商品を開発、試験販売しました。バスは通常路線バスを活用した、日々運行される既存インフラを活用。通常のスキーツアーと異なり、専属のガイドやドライバーはつきませんが、そこは運用でカバー。これが思いもよらぬ反響があり、予想以上の集客がありました。

こうした付加価値を高める商品を開発し、それを販売・流通する。農産品等を加工し、流通させることによる付加価値を高める「6次産業化」と似たようなアプローチですが、公共交通でも同様に付加価値を向上できる可能性があります。そして、各地が MM で培ったノウハウを、今度はセールスやプロモーションのために有効活用する、明るい取り組みに援用すれば、「持続可能な公共交通サービス」の実現につながるものと確信しています。

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 130 回)

●「姫島の新たなモビリティの普及の研究と事業化について」

【姫島エコツーリズム推進協議会 会長 寺下 満】

姫島エコツーリズム推進協議会は平成 26 年に大分県東国東郡姫島村でT・プラン株式会社
が主体となり、地域の民間団体で構成される観光組織、旅館組合、商工会、企業
などが連携し、環境に優しい超小型モビリティや電気自動車を導入し環境保全と観光振
興を目的にゼロエミッションな村づくり「ひめしまモデル」の確立と地域活性化に取り組んでい
ます。姫島は瀬戸内海に位置する周囲 17km の離島で、観光客が周遊するにも、フェリー
で自家用車を航送する料金が高く、また、島内のガソリン代も高価で、公共交通(バスやタ
クシー、レンタカー)がないなどの課題がありました。そこで、当協議会では、姫島で電気自
動車をレンタルすることでガソリン車の乗り入れを低減でき、さらに観光客の交通費負担を
軽減し、楽しく周遊ができると考え、国土交通省の超小型モビリティ導入促進事業に応募
し採択を受け、公道走行を可能とする認定制度を活用して 2 人乗りのニューモビリティ
コンセプトを 7 台導入しております。また、姫島村の協力により、電気自動車活用事例創
発事業の採択を受け、5 人乗りの電気自動車を貸与頂き、家族連れやグループ客など 2 人
乗りのニューモビリティコンセプトでは対応できなかった問題点も解決できています。平成 28
年度は高齢者向けに低速小型車両である電動カートの実証実験も開始し、島内での新
たな交通手段としての可能性を検証しているところです。この取り組みを持続可能な事業と
していくため、地域住民や観光客の目的用途に合った移動の選択の自由ができる点が独
創的であり、ゼロエミッションな村づくり「ひめしまモデル」の確立のため、消費社会から創出社
会への転換による地域活性化への第一歩が始まったばかりです。

3. ニュース／トピック

●「地域交通グリーン化事業」の対象案件の決定について【国土交通省】

国土交通省では「地域交通グリーン化事業」により、自動車運送事業者等に対して、電気バス、プラグインハイブリッドバス、燃料電池バス、燃料電池タクシー、超小型モビリティの導入を重点的に支援しているところです。燃料電池自動車、電気自動車を活用した地域の実情を踏まえた多様な交通サービスの展開や、他の地域や事業者による導入を誘発・促進が期待される事業を補助対象事業として決定しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha10_hh_000184.html

●京都丹後鉄道 宮豊線を利用した農産品の道の駅への輸送について【国土交通省】

国土交通省では昨年度、「流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律」を一部改正し(以下、「改正物流総合効率化法」)、物流分野における労働力不足や多頻度小口輸送の進展等を背景とする物流分野における省力化・効率化・環境負荷低減を推進するため、2以上の者が連携した幅広い物流効率化の取組を支援しています。

<http://www.mlit.go.jp/common/001184379.pdf>

●民間事業者による水素ステーションの本格整備の検討について【経済産業省】

経済産業省では、“水素社会”の実現に向けた取組を進めており、燃料電池自動車(FCV)の普及拡大に向けた環境を推進するため、水素ステーション運営事業者、自動車メーカー、金融機関等の計11社が、水素ステーションの本格整備に向けた協業の検討を開始することについて、覚書を締結しました。

<http://www.meti.go.jp/press/2017/05/20170519006/20170519006.html>

●わが国のカーシェアリング車両台数と会員数の推移【エコモ財団】

エコモ財団による2017年3月の調査では、わが国のカーシェアリング車両ステーション数は12,913カ所(前年比20%増)、車両台数は24,458台(同24%増)、会員数は1,085,922人(同28%増)と、引き続き増加するとともに、会員数は100万人を超えました。

http://www.ecomo.or.jp/environment/carshare/carshare_graph2017.3.html

●「平成29年度エコドライブ活動コンクール」への参加者募集について【エコモ財団】

エコモ財団では、平成9年に設立された「エコドライブ普及推進協議会」(運輸関係等16団体で構成)の事務局を務めるとともに、独自にエコドライブを普及推進するための様々な活動をしています。この活動の一環として、「エコドライブ活動コンクール」を開催して優れた取組を行っている事業者および団体を表彰し、その取組み内容を紹介することで更なる普及を図っていきます。

<http://www.ecodrive-activity-concours.jp/>

●公共交通の課題解決に向けて「地域連携サポートプラン」提案書の交付について【近畿運輸局】

近畿運輸局は、昨年6月に大阪府河内長野市、8月に大東市、9月に滋賀県東近江市と「地域連携サポートプラン」協定を締結し、地域公共交通に関する現状把握、意見交換等を進めてきました。このたび、上記3市が抱える公共交通の課題解決に向けた方向性がまとまりましたので、近畿運輸局より提案書を交付します。

<http://www.twb.mlit.go.jp/kinki/press/5pdf17-21.pdf>

●「第10回やまぐちバス博」を開催しました【中国運輸局山口運輸支局】

「みんなが利用しなくなる生活交通推進会議(事務局:山口県バス協会・山口県、参加団体:中国運輸局山口運輸支局ほか)」主催による県下最大のバスイベント「第10回やまぐちバス博」が4月24日に行われ、約3,500人が来場しました。

http://www.estfukyu.jp/pdf/EST_mailmagazine_vol.130_2.pdf

●平成29年度「COOL CHOICE」としての公共交通利用促進について【京都市】

京都議定書誕生の地である京都市では、平成20年度から「DO YOU KYOTO?」、「環境にいいことしていますか?」を合言葉に、オール京都で公共交通の利用や節電・省エネ・ごみの減量・マイバッグの使用など環境にやさしい取組を推進しています。平成29年度の「スローライフ京都」大作戦(プロジェクト)では、環境省が推進する地球温暖化対策の国民運動「COOL CHOICE」としての公共交通の利用促進に取り組んでいきます。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000218071.html>

●湖東圏域地域公共交通網形成計画について【滋賀県多賀町】

湖東圏域(滋賀県彦根市・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町)では、今後、総人口の減少、少子化、労働人口の減少、高齢者数の増加が見込まれており、地域の活力を維持・向上させるためには、そうした変化に対応したまちづくりが必要となっています。地域公共交通は、住民の移動を支える重要な社会資本として、これまで以上に重要な役割が期待されています。

<http://www.town.taga.lg.jp/cmsfiles/contents/0000000/856/keikaku.pdf>

●「第11回 JAF みんなのエコ川柳」入賞・入選作品発表【一般社団法人日本自動車連盟】

一般社団法人日本自動車連盟は、環境保全活動の一環として、川柳を詠むことを通して身近なエコに対する意識啓発を図ることを目的とした「第11回 JAF みんなのエコ川柳」の入賞・入選作品をホームページで発表しました。11回目となる今回は特に学校からの団体応募が大幅に増加し、過去最高の31,493句の応募がありました。

http://www.jaf.or.jp/profile/news/file/2017_10.htm

●環境意識調査の結果の公表について【ドイツ連邦環境省】

ドイツ連邦環境省は、「2016年環境意識調査」の結果を公表しました。これによると、ドイツ人の大多数が自動車への強い依存を望んでいないことが明らかとなり、公共交通機関の活用への高い意識が伺えます。

<http://www.bmub.bund.de/pressemitteilung/umweltbewusstsein-2016-mehrheit-der-deutschen-will-nicht-mehr-so-stark-aufs-auto-angewiesen-sein/>

●低排出車両の購入を促進するボーナス・マルス制度について【スウェーデン環境・エネルギー省】

スウェーデン政府は、CO2排出量の低い環境に優しい車両購入には報奨金を提供し、CO2排出量の高い車両に対する税を引き上げる、ボーナス・マルス制度の導入を提案しました。今回のボーナス・マルス制度は、環境に優しい車両の比率を高め、車両で化石燃料を使用しないという目標達成を促進するものです。

<http://www.government.se/press-releases/2017/03/bonusmalus-system-for-new-vehicles/>

4. イベント情報

●第 9 回地域の交通環境対策推進者養成研修会(金沢)

日時:2017 年 10 月 11 日(水)~13 日(金)

場所:ITビジネスプラザ武蔵6階「交流室1」

主催:EST 普及推進委員会、エコモ財団、国土交通省北陸信越運輸局

http://www.estfukyu.jp/pdf/EST_mailmagazine_vol.129_4.pdf

●エコライフ・フェア 2017

日時:(1 日目)2017 年 6 月 3 日(土)11:00~17:00

(2 日目)2017 年 6 月 4 日(日)10:00~17:00

場所:東京都渋谷区都立代々木公園

主催:環境省

<http://www.env.go.jp/press/103659.html>

●ITS あいち県民フォーラム 2017

日時:2017 年 6 月 7 日(水) 午後 2 時から午後 4 時 30 分まで

場所:栄ガスビル 5 階 栄ガスホール

主催:愛知県 ITS 推進協議会

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kotsu/29itsforum.html>

●九都県市エコドライブ講習会

日時:(1 日目)2017 年 6 月 12 日(月)

(2 日目)2017 年 6 月 19 日(月)

(3 日目)2017 年 6 月 25 日(日)

(4 日目)2017 年 6 月 26 日(月)

場所:(1 日目)尾久自動車学校

(2 日目)セイコーモータースクール

(3 日目)千葉県自動車練習所

(4 日目)KANTO モータースクール横浜西口校

主催:一般社団法人 日本自動車連盟

九都県市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市)

<http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2017/04/10/05.html>

- 第 10 回 ECOMO 交通バリアフリー研究助成報告会
 日時:2017 年 6 月 20 日(火)14:30~16:45
 場所:日本財団 2 階第 1~3 会議室
 主催:交通エコロジー・モビリティ財団
http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/bfyjosei/2017/bfyjosei_2017_report10_top.html

- 第 12 回日本モビリティ・マネジメント会議
 日時:2017 年 7 月 28 日(金)、29 日(土)
 場所:福岡県福岡市 アクロス福岡
 主催:一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議
<http://www.jcomm.or.jp/>

- 第 9 回土木と学校教育フォーラム
 日時:2017 年 8 月 6 日(日)9:00~17:00
 場所:土木学会講堂
 主催:公益社団法人土木学会
 土木計画学研究委員会「交通まちづくりの実践」研究小委員会
<http://committees.jsce.or.jp/education04/node/39>

- 京都スマートシティエキスポ 2017
 日時:2017 年 9 月 28 日(木)10:00~17:10
 2017 年 9 月 29 日(金)10:00~17:00
 場所:けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)ほか
 主催:京都スマートシティエキスポ運営協議会
<https://expo.smartcity.kyoto/>

- 第 24 回 ITS 世界会議モントリオール 2017
 日時:2017 年 10 月 29 日(日)~11 月 2 日(木)
 場所:Le Palais des congres de Montreal
 主催:ITS America / ITS Canada
http://www.its-jp.org/katsudou2014/tabid_100/montreal-2017/

- 第 15 回 ITS シンポジウム 2017
 日時:2017 年 12 月 7 日(木)~8 日(金)
 場所:九州大学 伊都キャンパス 椎木講堂
 主催:特定非営利活動法人 ITS Japan、九州大学
http://www.its-jp.org/event/its_symposium/15th2017/

●エコプロダクツ 2017

日時:(1日目)2017年12月7日(木)10:00~18:00

(2日目)2017年12月8日(金)10:00~18:00

(3日目)2017年12月9日(土)10:00~17:00

場所:東京ビッグサイト 東ホール

主催:一般社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社

<http://eco-pro.com/2016/outline/000511.html>

5. その他

- EST パートナースHIP会員制度に参加する団体を募集しています！
2013年7月16日から募集を開始し、37団体が参加しています。
会員サイトトップページで、交通と環境に関するニュースをリアルタイムで掲載しています。
http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
<https://twitter.com/officeEST>
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
<http://www.green-m.jp/>
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
配信申込はこちらから
<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)の学校支援を募集中！（締切:6月23日）
http://www.mm-education.jp/gakkou_sien.html
- 地域における外国人旅行者等の移動円滑化を図る取組みを支援します！（締切:6月中）
<http://www.ecomo.or.jp/environment/Inbound/bosyuu.html>
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html
- 記事募集中！
本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。
EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: magazine@ecomor.jp (担当:熊井)

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

ESTポータルサイト:<http://www.estfukyu.jp/>